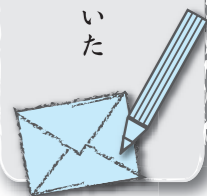


## 町長への手紙

「町長への手紙」にお寄せいただいた手紙とその回答を紹介します。



毎日、忙しいところお疲れ様です。

まず、比布の駅前シャッター通りを考えて欲しいです。カラオケ施設、リサイクル屋など、あったら良いと思います。

比布は、いちこの町として名乗るのであれば、もう少し特産品を使って売り出せないのですかね。他の町は、少しずつでも工夫してると思いますが、アイデアはたくさんあります。よろしくお願ひ致します。

(K・K)

### §町長からの回答§

この度は、貴重なご意見をいただき大変ありがとうございます。

駅前通りにつきましては、

近年、店舗が減る傾向にあり、その再生と活性化は重要な課題となっております。

そうした状況の中、町で昨年度、商工会や旭川信用金庫と連携し、店舗の活用についてのアンケート調査を行ったところですが、残念ながら有効な手段が見いだせていないのが現状です。

活気あふれる商店街や町なみの形成は、住民誰もが望まれていることと認識しております、町としても比布駅の改築を活性化の一策とし、駅周辺に人が足を運ぶ雰囲気づくりに努めるとともに、今後は管理委託業者ともさらに連携を強め、町内外の方々に駅前広場をイベント等に活用していただくための仕掛けや情報発信方法などを構築するための検討を進めてまいります。

また、商工会や金融機関と

も連携し、空き地の活用も含め、少しでも賑わいが戻るよう引き続き取り組んでまいります。

特産品の開発は、一昨年、商工会青年部員を中心とした町内若手有志が、比布町特産の小ねぎを使用した醤油を開発し、販売開始から非常に好評を得ているところです。

また、その醤油と比布町発祥のブランド米「ゆめびりか」と「かつばの健卵」をセットにした「たまごかけごはんセット」も、多くのメディアで取り上げられ、好調な売れ行



を想うみなさんとしつかりと協力して他の町に負けない比布のまちづくりに向け努力を行ってまいります。

### 【お寄せください】

比布町のまちづくりについて、ご意見やアイデア、ご要望をお聞かせください。普段の生活で気付いたこともお気軽にお寄せください。みなさまの「こえ」をお待ちしています。

「町長への手紙」の用紙は、広報びっぶ5月号(平成29年5月2日発行)に折り込んだほか、町内公共施設に設置しております。

氏名などの記入がない意見も参考にさせていただきますが、非難や中傷、営利を意図したものは受付できません。また、ご返答もできないことをご了承ください。

### ●問い合わせ●

役場まちづくり推進室広報係  
☎85・4802

## 久保田正義さんが旭日双光章



平成29年春の叙勲で、久保田正義さんが旭日双光章(地方自治功労)を受章し、5月2日に札幌市内の京王プラザホテルにおいて、高橋はるみ北海道知事から久保田さんに勲章が伝達されました。

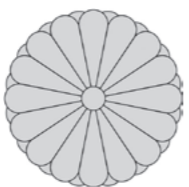
久保田さんは、平成7年から連続5期20年の長きにわたり、町議会議員として、地方自治の振興に尽力。平成15年から町議会副議長を4年、平成23年からは町議会議長を4年務め、卓越した識見と豊富な経験をもとに町政の伸張に多大な貢献をされました。

また、基幹産業である農業を中心とした産業振興や、住

民目線的生活環境づくり、さらには、本町と友好交流を結ぶ湖南市とも積極的に交流を深めていた久保田さん。受章に際し、久保田さんは「このような身に余る賞をいただき、大変恐縮している。これも皆さんからの支えがあったからこそ」と話します。

現在は、第18区行政区長に就き、地域の頼れる相談役として活躍するだけでなく、法輪寺護持会会長(総代長)としては、15年以上在職するなど地域のために精力的に活動されています。

# 春の叙勲 受章 おめでとうございます



## 佐藤 直一さんが瑞宝双光章



平成29年春の叙勲で佐藤直一さんが瑞宝双光章(消防功労)を受章しました。

佐藤さんは、昭和34年に比布村消防団に入団。昭和49年に札幌で開催された北海道消防法訓練大会の消防ポンプ自動車部門で見事優勝を勝ち取り、同年に北海道代表として全国大会に出場されました。

また、平成14年から14年間比布消防団団長を務め、56年間という長きにわたり、消防団員として消防技術の習得や火災予防活動、団員の育成に力を入れるなど、消防行政の

発展のために、団員の先頭に立ち、ご尽力されました。

受章に際し、「みなさんのおかげでいただけたと思っております。この年まで元気でいられる体に育ててくれた親にも感謝している」と笑顔で語る佐藤さん。

現在は、写真撮影や大雪山連峰の登山、びっぶスキー場で子どもたちにスキーの指導をするなど活発に活動しているほか、自身のスマートフォンで撮影した写真をSNSに投稿するなど、今もなお新しいことにチャレンジされています。